

語数: 93語 目標時間: 15分 文の形: 分詞の後置修飾 ねらい: 名詞のうしろの説明を巻き取る

 **場面** 美術館の英語音声ガイドの原稿が、教材プリントになりました。「～している少女」「～された手紙」——名詞のうしろにくつつく説明(分詞)を巻き取りながら読みます。

 **精読とは** 速く読む練習とは反対に、1文ずつ「だれが・どうする・なぜ」まで説明できるように読みます。辞書を使ってOK。
①②…は文の番号です。

読 美術館の音声ガイド原稿です。

①Welcome to Room 3. ②Please look at the large painting hanging on the north wall.
③The girl holding a blue umbrella is the painter’s daughter, Hana.
④The small dog sitting at her feet was her best friend, Kuro.
⑤Now, look at the glass case. ⑥You can see a letter written by the painter in 1950.
⑦The words written in soft pencil say, "I painted the rain, but I wanted to paint the sound of the rain."
⑧The music played in this room is the painter’s favorite piano piece.
⑨Please enjoy the rain — and its sound.

 painter=画家 glass case=ガラスケース piece=曲

問 設問(10点満点) 記号は()に、書く問題は下の線に。

(1)	文④のherはだれを指していますか。日本語で書こう。	2点
(2)	「手紙がいつ・だれによって書かれたか」がわかる文はどれ？ 番号で答えよう。	2点
(3)	文③の内容に合うのはどれ？ ア. 青いかさを持っている少女は画家の娘だ。イ. 少女は青いかさを画家からもらった。ウ. 画家の娘がこの絵を描いた。	2点 ()
(4)	文③の主語のかたまりと動詞を英語のまま抜き出そう。	2点
(5)	画家が本当に描きたかったものは何？ ⑦を手がかりに日本語で書こう。	2点

答 解答と許容範囲

(1)	(絵の中の、青いかさを持つ)画家の娘のハナ	③のthe painter’s daughter, Hana。足もとの犬の飼い主。
(2)	⑥	a letter written by the painter in 1950。written以下が手紙の説明。
(3)	ア	The girl holding ~ is ~。holding a blue umbrellaは少女の説明。
(4)	主語: The girl holding a blue umbrella 動詞: is	主語は「かさを持っている少女」まるごと。説明付きの主語は長くなる。
(5)	雨(そのもの)ではなく、雨の音。	I painted the rain, but I wanted to paint the sound of the rain。butの対比。

訳 全文訳(自分の読みと照らし合わせよう)

①第3室へようこそ。②北の壁にかかっている大きな絵をご覧ください。③青いかさを持っている少女は、画家の娘のハナです。④彼女の足もとにすわっている小さな犬は、親友のクロでした。⑤では、ガラスケースをご覧ください。⑥画家によって1950年に書かれた手紙が見られます。⑦やわらかい鉛筆で書かれたことばには、こうあります——「わたしは雨を描いた。しかし、描きたかったのは雨の音だった」。⑧この部屋に流れている音楽は、画家のいちばん好きなピアノ曲です。⑨どうぞ、雨と——その音をお楽しみください。

☆じっくり読みのコツ Level 5 名詞のすぐうしろの～ing／過去分詞は「どんな名詞かの説明シール」。The girl holding an umbrella＝「かさを持っている」少女、と後ろから巻き取って1つのかたまりに。かたまりの終わりは動詞(is / was)の手前——ここが切れ目。

■ 記録しよう 得点___／10 → 8点以上なら次のLevel 6へ。7点以下なら、全文訳を見ながら本文をもう一度読み、(5)の答えを書き直してから次へ。